

第2回定例町議会

平成30年6月14日に「第2回奥尻町議会定例会」が開会され、2名の議員から一般質問がありましたので、その質疑応答の概要について紹介します。

一般質問

奥尻町の魅力発掘と交流人口や移住施策について



工藤 勇議員

質問

近年の奥尻町の状況として、人口の減少や交流人口の鈍化傾向、そして少子高齢化などの現状から、「有人国境離島法」の施行を受け、様々な取り組みがされている中で、「島国日本、未来へのヒント」と題して

行われた関係機関の専門家の対談から、奥尻町の現状を重ね合わせて見ると、地域の抱える課題を取り上げ、地域の魅力づくりが欠かせない条件と考えますがその認識を、移住者の実態から条件がそろえば離島に興味を抱く若者が増えているという情報がありますが町長の見解を、島留学生の現状から将来の担い手とし

答弁

奥尻町の魅力づくりの一つに「町民憲章」の精神も魅力の一つであり、多様化して難しいが、「町民憲章」を目指すことで魅力づくりを考え、取り組んでいきます。島に興味のある若い人の条件も多様化しており、志向や個別の需要度があると

で考えるとき、何らかの取り組みが必要と考えるがそれらの取り組みについて、移住対策として仕事・医療・住宅・教育などパッケージとしての対策が必要と思うが町長の見解を、また奥尻町の活性化策の一つとして地域おこし協力隊の経験を持つ企業の実証実験を積極的に活用することが必要と考えるが今後の取り組みについてお答えいただきたい。

新村 卓実町長

考えています。過去の移住実態から働きの場の確保も条件だと考えています。

昨年から島留学生を受け入れているが、将来の担い手として考えるとき収入の確保や就業の場の確保など環境整備ができるような取り組みをしていきます。また、移住・定住には収入の確保が必要であり、住む環境として医療・住宅、子育て家庭であれば学校教育の需要も追隨してきます。

まずは、産業の振興によって就業の場を拡大させ、定着人口と交流人口を確保し理想のパッケージ構想となるよう取り組んでいきます。

協力隊については、取り組んだ経緯はありますが、本人の意思変化や諸条件が合わず着任には至っておりません。環境を整え活用する場を作っていきたいと考えています。

漁業投資とその成果の見通しについて

工藤 勇 議員

質問

奥尻町の基幹産業の現状を捉え、加速度的に進む就業者の年齢構成、大幅な減少の生産額の現状から、国や北海道が進める各種支援事業等、投資事業を分析することと今後の基幹産業の見通しの必要性から、漁業従事者の高齢化や後継者の育成、移住就業者対策など抜本的対策の必要性から町長の認識と見解を、特定漁場整備等の地域経済に及ぼす影響は計り知れないと思うが、将来的に期待される漁獲量や漁獲高へ結びつか

新村 卓実 町長

答弁

ねばなりません。放流事業等各種事業の継続の必要性と将来目標を、離島漁業再生支援交付金事業のウニ深淺移植は平成17年度から始まっていますが、移植時期や粗末な取り扱いなど疑問視する指摘があります。その認識と対策について、また稚魚放流事業のナマコの放流は資源保護や漁業収益の観点から重要な事業と思われませんが事業の拡大と干しナマコなど製品化とブランド化の考えを、そして経年劣化した漁船の機器整備など支援策の必要性が聞こえていますが、支援策等町長の認識と具体的施策についてお答えください。

基幹産業就業者の年齢構成について、現在組合員142名に対し、60歳以上の漁業者が112名、59歳以下の漁業者が30名しかいない現状であり、高齢化が進んでいると認識しています。そのため交付金事業を活用し、後継者育成や就業の確保の対策に力を入れていきます。

き要望してまいります。試験調査を基に漁業者の生産につながるような養殖施設等も要望し、今後の所得向上に結び付くよう期待しています。

ウニの深淺移植の時期、取扱などは集落代表者会議でも取り上げられており、水産技術普及指導所からもウニの取り扱いについて指導を受けていると聞いています。現状の放流内容が効果的か検証することと追跡調査へ協力してまいります。

ナマコ放流は町が500万円を負担して推進していきます。種苗生産も試験的に行っています。今後は漁業者が行える簡易採苗も進めていきます。

干しナマコの製品化とブランド化は、リスクを考慮し塩蔵ナマコ加工を試験的に取り組んでいます。

漁船の機関修理等の必要性については認識してまいります。省エネ機器導入推進事

業や水産庁予算による支援策を活用して支援できればと思っています。

子供医療費助成の拡大と小児診療について

水野 諭 議員



質問

小児科の出張診療は可能か

本町の病院事情につきましては、専門医の出張診療が月1回のペースで来院診療していただいております。専門医の来院日には、多くの患者さんが診察に訪れています。

そんな中、以前に若い方から「奥尻に小児科があればいいのに」との声が聞かれ、乳児一ヶ月検診、三ヶ

町長答弁

月検診、子供のアレルギー検診、事あるごとに島外に出て、病院に通わなければならず、費用もかなり大変とのこと。月一回でも、小児科の出張診療はできないものではないでしょうか。

質問

0歳から12歳までの医療費助成の年令引き上げは出来ないか

本町では12歳までが初診料を除き実質医療費無料、

町長答弁

一割負担となっておりますが他自治体では、中学卒業、あるいは高校卒業まで拡大しております。本町での医療費助成の年令引き上げはできないでしょうか。

質問

専門医の出張診療時の駐車スペースの確保を

現在、小学生卒業までの医療費助成は、小学校入学前と小学生の入院部分は、2分の1が道補助金となり、通院部分は、町単独事業となっております。これを中学生まで拡大すると、全額町単独事業となり、今後の財政状況や生徒数の推移を見守り、また、子育て支援の観点からも十分協議して決断したいと考えています。

町長答弁

患者さんにご不便をおかけし配慮が足りなかったことをお詫びいたします。その後は、職員には外来患者用駐車スペースに駐車しないよう周知し、公用車駐車スペースを外来患者に開放しております。

また、必要に応じて職員が駐車場誘導を行っております。

議会は町政と皆さんの茶の間をつなぐパイプです。

議会を傍聴してみませんか

☆次回定例会は9月中旬を予定しています☆

観光振興及び環境整備

について

水野 諭 議員

質問

体験型観光で何か考
えているメニューはあ
りますか

観光の振興と環境の整備
は常に考えていかなければ
ならない。

近年の観光事情は、景観
食、おもてなし、それプラ
ス体験観光が目立ってきて
おります。

奥尻に行つて「これ」を
したい「あれ」をしようと
思うようなメニューを考え
ていますか。

町長答弁

島内にある様々なもの
に見出しを付けて体験メ

ニューの提供に関わつてき
ました。

近年は希少多種のニーズ
が好まれ、メニューの多様
化が求められています。

民間団体などで組織され
る「体験観光トライアル委
員会」の設立や民間個人の

方々の得意とする分野に
よつて新たなメニューの造
成が検討され、その顧客

ニーズに柔軟に対応できる
仕組みづくりがされようと
しております。

これら団体等の自由な取
り組みや意見、情報に注目
しながら支援を検討してい
きたいと考えています。

質問

雑草の生長度合いを
見て、草刈りの回数は
増やせませんか

道路脇の雑草をムーンラ

イトマラソン大会に向けて
毎年草刈り作業を実施して
いますが、その後7月、8
月の観光時期にはなかなか
行われていません。

景観も見栄えも悪く、何
よりも交通安全上も見通し
が悪いので、対処できない
でしょうか。

町長答弁

町道は、例年この時期に
発注、実施しております。

その後、路線の状況に応
じて、再度委託し、交通に
支障をきたさないよう管理
しております。

道道は、函館建設管理部
奥尻出張所に確認したとこ
ろ、毎年ムーンライトマラ
ソン大会時期にあわせて実
施しており、その後の草刈

りは、道路パトロールの結
果等を基に、通学路や主要
な交差点部など交通安全上
の支障が生じる箇所におい
て、適宜実施しているとの

ことです。

質問

トイレの改修、整備
は必要と考えますが

いまだ和式もあり、洋式
トイレにして欲しいとの声
があります。

島外観光地では、きれいで
使いやすいトイレが目立
ちますので、トイレの改修、
整備について考えています
か。

町長答弁

新しくとも南西沖地震関
連事業で整備され20年以上
経過し、バリアフリーに対
応していないものや、非水
洗のもの、経年による老朽
化が目立っています。

改修の可能なもの、不可
能なものもあります。
利用可能な施設トイレや
公衆トイレを精査し、改廃
や集約など、併せて検討を
していきます。

質問

漁協青年部の事業実
績は

漁協青年部のみなさんが
昨年度からフェリー乗り場
の近くで海産物の「見て、
触つて、食べて、買って
らう」行動を起こしており
ますが、その事業実績を教
えてください。

町長答弁

事業実績としては昨年11
月1日から2人を雇用し、
直販所の新規起業という形
で事業がスタートされてお
ります。

設備を準備する中で、漁
協の荷捌き所を利用してヤ
リイカの販売を行い、最近
では6月9日に、エゾバカ・
ホタテ・ホヤなど地元の海
産物を販売しております。
また、冷凍機器、真空包
装機、蓄養用設備などを整
備しております。